2026年7月

保護者の皆様

一般社団法人長崎県バスケットボール協会
ユース育成委員会委員長　溝 江 和 樹
スポーツ医科学委員長　　宮 本　俊 之
〔公印省略〕

育成センター(DC)における緊急時連絡カードと同意書記入のお願い

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当協会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、将来のバスケットボール日本代表を担うジュニア世代の育成と事故防止を目的として、**緊急時連絡カード**の記載をお願いしております。昨今、突然死を来すような疾患を持ちながら競技バスケットボールに参加している事例が増加しており、死亡例も確認されております。一般的に若年アスリートの突然死で多い肥大型心筋症や致死性不整脈に加え、バスケットボールのように長身者が多いスポーツにおいて注意すべき点として、マルファン症候群を含めた潜在的に存在する心大血管疾患が挙げられます。そこで、当協会では、健全な選手育成と共に、スポーツ活動のみならず日常生活における突然死を予防する意味でも、選手選考に際して、マルファン症候群またはその類縁疾患の診断がある、もしくはその可能性がある場合、医師との協議を必須としており、その結果、参加が認められないこともあります。

つきましては、保護者の皆様には、記載された緊急時連絡カードの記載不備が無いか確認していただいた上で、**同意書**の「参加選手が制限なく練習に参加できる」にチェックを入れてください。また、「マルファン症候群に関する注意」を参加選手とご一緒に確認していただき、理解を深めていただいた上で、**同意書**にチェックを入れてください。下記【専門家受診をすすめるポイント】を参照し、必要に応じて専門科〔年齢により循環器内科または小児(循環器)科〕受診をしていただくよう、宜しくお願い致します。判断に迷われた際は、遠慮なく下記日本バスケットボール協会窓口までご連絡いただければ、対応いたします。ご多忙中、誠に恐れ入りますが、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

【専門科受信をすすめるポイント】

1. 緊急時連絡カードに記載された医療情報のいずれかに〇があるが、これまでに医療機関を受診していない。
2. マルファン症候群、若年での大動脈疾患の家族歴がある。
3. 心臓病(肥大型心筋症)、不整脈(QT　延長症候群など)、若年での突然死の家族歴がある。
4. 水晶体脱臼の既往歴がある。
5. 心大血管疾患、不整脈の既往歴があるが、最近2年以上検査を受けていない。
6. 高身長(痩せ型)、長四肢、長指趾、明らかな側弯症、別紙(マルファン症候群に関する注意)に示す身体チェック項目の中で複数あてはまる。
7. マルファン症候群を疑われ過去に検査を行い問題なかったが、3年以上経過している。

以上